

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 毎年3月31日
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) **フリーダイヤル** 0120-782-031
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の
 本店および全国各支店で行っております。

ホームページのご案内

IR情報につきましては当社ホームページにも記載されておりますので、ご覧ください。



<http://www.seikoh-giken.co.jp/>



株主通信

第47期 第2四半期事業報告
 平成30年4月1日~平成30年9月30日

特集

キーマンインタビュー
 巨大マーケット・中国市場における
 原動力と今後の戦略

『マスタープラン2016』に基づき 目標達成に向け着実に歩みを進めてまいります



代表取締役社長
上野 昌利

2019年3月期第2四半期の業績について

当第2四半期の情報通信関連市場では、ビッグデータを効率よく利用するためのクラウドサービスが拡大したほか、重要な情報をより安全に保管するためのデータセンターの建設が世界各国で積極的に進められました。

こうした中で当社グループは、2016年度を初年度とする中期経営計画『マスタープラン2016』に基づき、引き続き①既存事業の収益力強化、②事業ポートフォリオの最適化、③経営基盤の強化の各施策の遂行に努めました。

①既存事業の収益力強化に向けては、精密成形品や各種の金型、精密金属加工部品等を主力製品とする精機事業、光通信用部品とその関連機器等を主力製品とする光製品事業の両セグメントにおいて、販売力と価格競争力を強化すると共に、新製品・新技術の開発に取り組みました。

②事業ポートフォリオの最適化に向けては、連結子会社である杭州精工技研有限公司が、中国国内の投資会社と共同出資し、中国のIT関連の有力企業に対して光通信用部品の開発・販売を行う新会社を設立しました。

③経営基盤の強化に向けては、グループ会社間の共同プロジェ

クトや、各社の幹部が一堂に会する国際経営会議等を通して、将来に向けたシナジー効果をより創出しやすいグループ体制の構築に努めました。

こうした結果、当第2四半期の売上高は74億33百万円、営業利益は7億96百万円、経常利益も8億74百万円と大幅な増収増益となりました。

第2四半期までの好調な業績を受けて、通期業績見通しも、売上高148億50百万円、営業利益13億50百万円、経常利益14億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益10億円と上方修正しています。

セグメント別の業績について

●精機関連

精機関連では、スマートフォンに使用されるプレス成形品の販売が好調に推移しました。車載用のセンサー部品については、一昨年北海道千歳市に新設した工場への生産移管が順調に進んでいます。9月には北海道胆振東部地震が発生しましたが、幸い生産ラインへの影響は無く、静岡県既存工場と合わせた車載用成形品の売上高を堅調に伸ばすことができました。

これらの結果、当第2四半期の売上高は、43億42百万円、営業利益は4億45百万円と大幅な増益となりました。

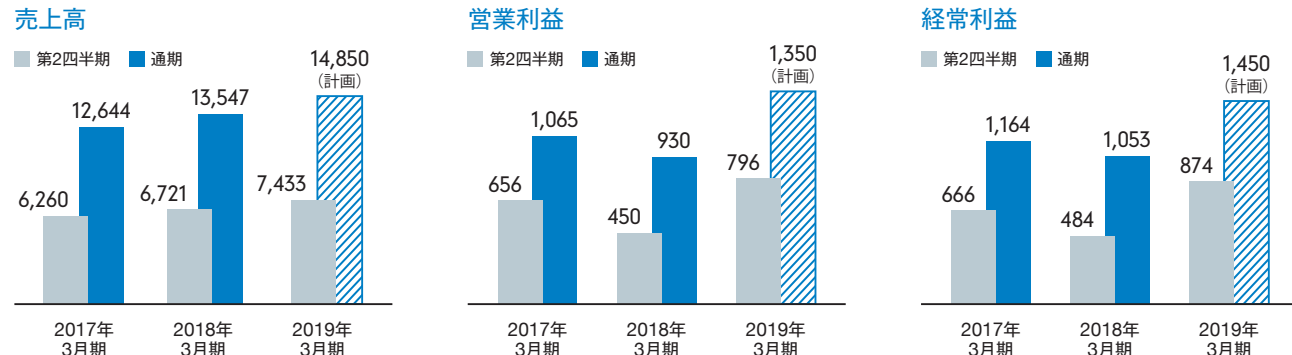
●光製品関連

世界各地で光通信網の拡充やデータセンターの建設が進められており、光通信用部品の需要が増加する中、中国の電子商取引大手企業をはじめ、各国の情報通信関連各社との取引拡大に取り組みました。また、第5世代の超高速無線通信規格（5G）の商用化等による需要増を見据え、高機能光部品等の開発に取り組み、製品ラインアップの拡充を図りました。

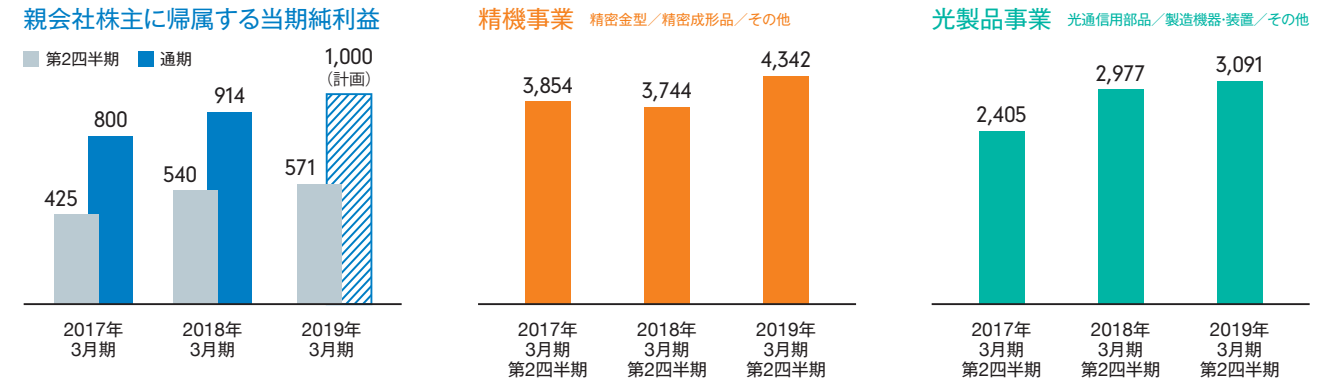
これらの結果、当第2四半期の売上高は、30億91百万円、営業利益は3億50百万円と大幅な増益となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

◆ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



◆ セグメント別概況 売上高の推移 (単位:百万円)





杭州精工技術有限公司総経理 兼、
精工技研取締役光学製品事業部部长
来関明氏

データセンター市場で大型受注を獲得 巨大マーケット・中国市場における 原動力と今後の戦略

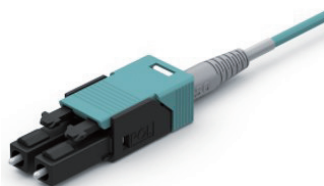
これまでの光通信デバイスの主戦場であったテレコムに加えて、存在感を増しつつあるデータセンター市場。拡大する中国のデータセンター市場における強みと成長戦略について、杭州精工技術有限公司総経理 兼、精工技研取締役光学製品事業部部长 来関明氏に伺いました。

Q 中国の市場環境について教えてください。

中国では今、大手IT企業をはじめとするインターネット関連需要が非常に速いスピードで拡大しています。アメリカにFLAAG (F=Facebook、L=LinkedIn、A=Apple、Amazon、G=Google) に代表される巨大IT企業があるように、中国にはBAT (B=Baidu: バイドゥ (百度)、A=Alibaba: アリババ (阿里巴巴)、T=Tencent: テンセント (騰訊)) があります。

例えばアリババはオンラインショッピングの企業なので、顧客の属性や購買履歴をビッグデータとして持っています。こうした企業は、データセンターも自社で保有しています。

当社はこうした大手企業をいち早くターゲットに設定し、他社に先駆けて市場に参入することに成功しました。これにより、中国最大手のデータセンター事業者等から日本円で約13億円にのぼる大型受注を獲得することができました。

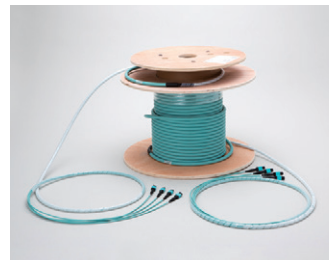


光コネクタは自社の研磨機と治具を使って研磨し、グループ会社の形状測定器で測り品質を保證

Q データセンター市場における精工技研の製品群の強みと特徴について教えてください。

当社では、データセンター市場に対してMPOという多心のコネクタケーブルと通常のコネクタケーブル、そしてこれらを収容するラックを供給しています。

これまで中国市場においては、精工技研=高品質で高価格というイメージもありましたが、現在は、品質基準まで含めると当社の製品が最もコストパフォーマンスに優れている、そうした位置付けを獲得しています。今回、大型受注を獲得できた要因には、中国が品質を重視するようになってきていることが背景にあります。今回の大型受注では、供給能力と、約束した品質をきちんと提供するという、日系企業としての強みが評価されています。



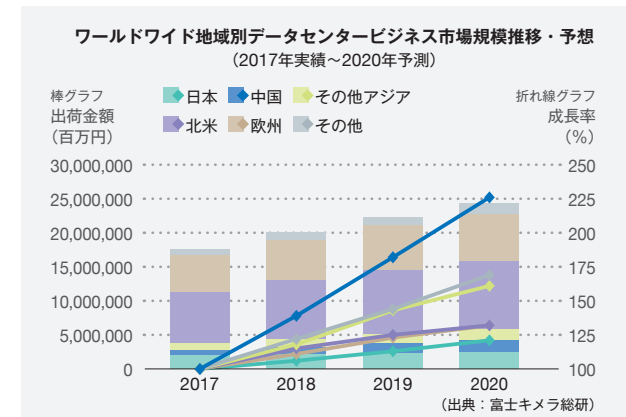
コネクタケーブルはデータセンターで大量に使用される重要な基幹部品



Q 拡大する中国市場における今後の戦略をお聞かせください。

今後の中国において一番大きな需要が見込めるのはデータセンター市場です。例えば医療情報サービスを全部クラウド化しようとすると、各都市に大きなデータセンターが必要になります。中国には100万人都市が120以上ありますが、それらを大きなデータセンターで繋ぐことが政府主導で行なわれています。

それから公安局。中国では街頭にカメラがたくさんあって、交通違反を取締まったり、映像データと信号機とを連動させて市内の交通をスムーズにしたりしています。それらのデータは全てデータセンターに集まります。IT企業の一般的なデータセンターの他に、こうした医療専用、公安専用、銀行専用等のデータセンターが数多く作られています。



こうした場所で光ファイバに換わる通信インフラは今後もありません。MPOコネクタ等も形を変えずと生き残る重要な基幹部品であると考えており、当社ではこうした市場に向けた取引拡大を目指しています。

Q 最後に、株主様に向けたメッセージをお願いします。

当社では「技術を製品に変え、製品を商品に変える」という方針を徹底しています。

日本企業は良い製品を作るのは上手なのですが、これだけではイニシアチブを取れません。当社はもちろん光通信用部品を作り続けますが、エンドユーザーの需要動向を把握したいと考えています。例えばデータセンターやクラウド、5G (第5世代移動通信システム) といった成長市場のなかで真に必要とされていることを押さえ、製品に反映させていきます。

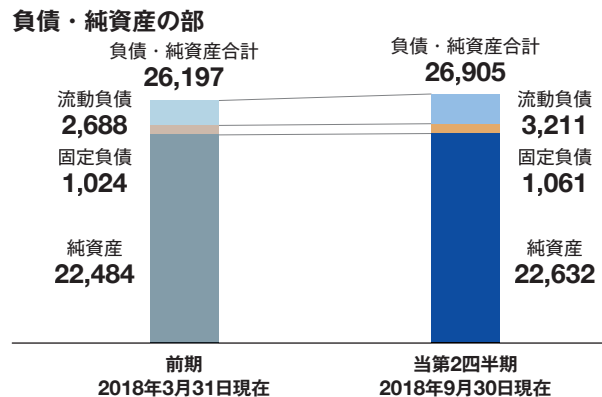
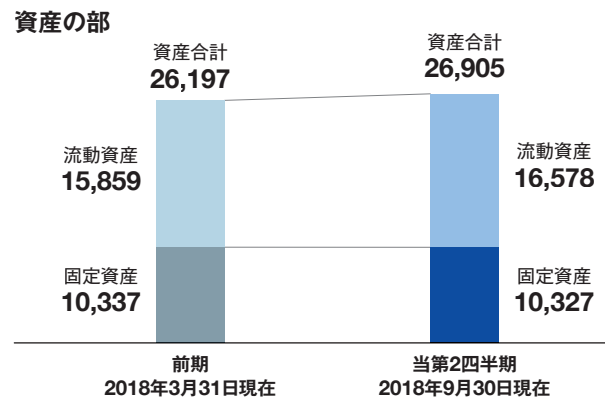
また、成長している企業は、自社の良い技術や製品を、顧客のニーズを機会にして育てています。今回大型受注となったコネクタは、もともと持っていた製品をアレンジしたのですが、顧客からは技術力のある会社と評価をいただくことができました。こうした経験を積み重ね、今後もさらにビジネスを拡大していきたいと考えています。

株主の皆様におかれましては、当社の企業活動に引き続きご理解を賜りますとともに、今後とも一層のご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

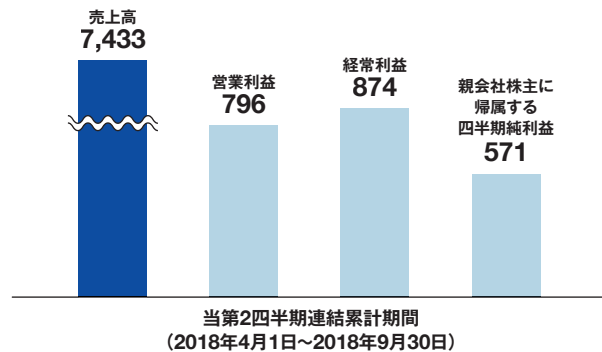
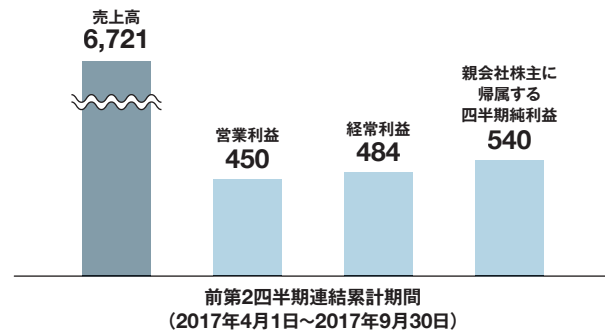
連結財務諸表(要約)

単位：百万円、単位未満切り捨て

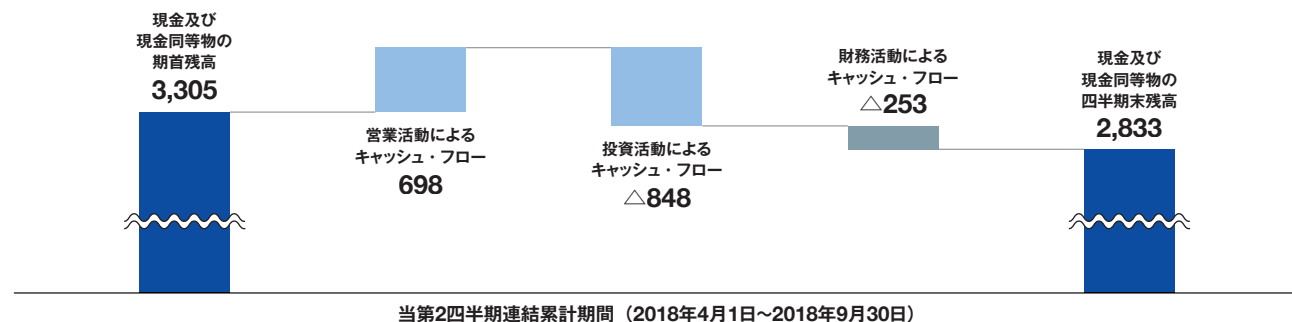
◆ 四半期連結貸借対照表



◆ 四半期連結損益計算書



◆ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書



会社情報 / 株式情報

(2018年9月30日現在)

◆ 会社概要

会社名 株式会社 精工技研
 本社 千葉県松戸市松飛台296番地の1
 創業 1972年6月
 資本金 6,791,682,700円
 従業員数 909人(2018年9月30日現在)
 グループ会社 子会社
 SEIKOH GIKEN USA, INC.
 杭州精工技研有限公司
 SEIKOH GIKEN EUROPE GmbH
 大連精工技研有限公司
 不二電子工業株式会社
 DATA-PIXEL SAS
 関係会社
 浙江精工光电科技有限公司

◆ 役員

代表取締役社長 上野 昌利
 専務取締役 木村 保
 取締役 柳瀬 晴夫
 取締役 來 関明
 取締役 上野 淳
 取締役(社外取締役) 大久保 勝彦
 取締役(監査等委員) 森 保彦
 取締役(監査等委員、社外取締役) 三好 徹
 取締役(監査等委員、社外取締役) 相場 俊夫

◆ 株式の状況

発行可能株式総数	37,000,000株
発行済株式の総数	9,333,654株
株主数	2,563名

◆ 大株主の状況

株主名	持株数(株)	発行済株式(自己株式を除く.) の総数に対する所有株式 数の割合(%)
上野 昌利	912,000	9.81
有限会社高志	725,500	7.80
有限会社光研	654,500	7.04
木村 保	609,200	6.55
細江由紀子	432,500	4.65
都丸由美子	430,500	4.63
上野 淳	329,900	3.55
吉田 智恵	329,000	3.54
高橋 藤子	321,600	3.46
細江 一稀	249,000	2.68

所有者別株式分布状況

